

令和3年度 菊間国家石油備蓄基地総合防災訓練の実施について

10月28日(木)、菊間事業所において防災訓練計画に基づき、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構の主催により、令和3年度 総合防災訓練を実施しました。

陸上訓練は、南海トラフ巨大地震(菊間町は震度6弱)が発生し、原油タンク(TK-106)の付属弁から原油(約100L)が漏洩、防油堤に亀裂、火災に備え待機中の防災要員が熱中症により負傷。その後、原油タンク(TK-106)でリング火災が発生し、消火活動後に「津波警報」が発令されたとの想定で、関係機関への通報訓練、災害応急活動訓練(漏洩停止措置、土のう構築)、負傷者応急処置・救急搬送訓練、消防火訓練および避難訓練を実施しました。

また、海上訓練では、TK-106の付属弁から漏洩した原油がガードベースンを経由し海上に流出した、との想定で、関係機関への通報訓練、油防除拡散訓練(オイルフェンス展張訓練、油回収・拡散処理訓練)を実施しました。

訓練参加機関は、基地の自衛防災組織の他、今治市西消防署・菊間分署、今治海上保安部、共同防災組織(太陽石油(株)四国事業所と菊間基地で構成)、太陽テクノサービス(株)の5機関に参加頂き、総員110名、訓練車両9台、船舶7隻で、連携の取れた緊迫感のある訓練となりました。



漏洩停止措置



防油堤亀裂部への土嚢構築



熱中症応急処置・救急搬送



タンクへの冷却散水



ガードベースン内の流出油回収



オイルフェンスの展張および
流出油の拡散・回収